

SPIEGEL

7月号

2022. July.12/Vol.6

調査概要

<調査期間>

調査実施日：2022年6月28日～2022年7月4日

昨年同時期：2021年6月24日～2021年7月1日

Subjects

1 <学生動向> P.2

- ・説明会平均参加率と平均参加社数
- ・面接平均参加率と平均参加社数
- ・平均内定率と平均内定社数
- ・決定率（就職活動終了者の割合）

2 <企業動向> P.6

- ・主要ナビサイト7月説明会告知社数（地域別）
- ・マイナビでの7月全国説明会告知社数（対面・WEB比較）
- ・24卒採用 月別インターンシップ告知コース数（マイナビ）

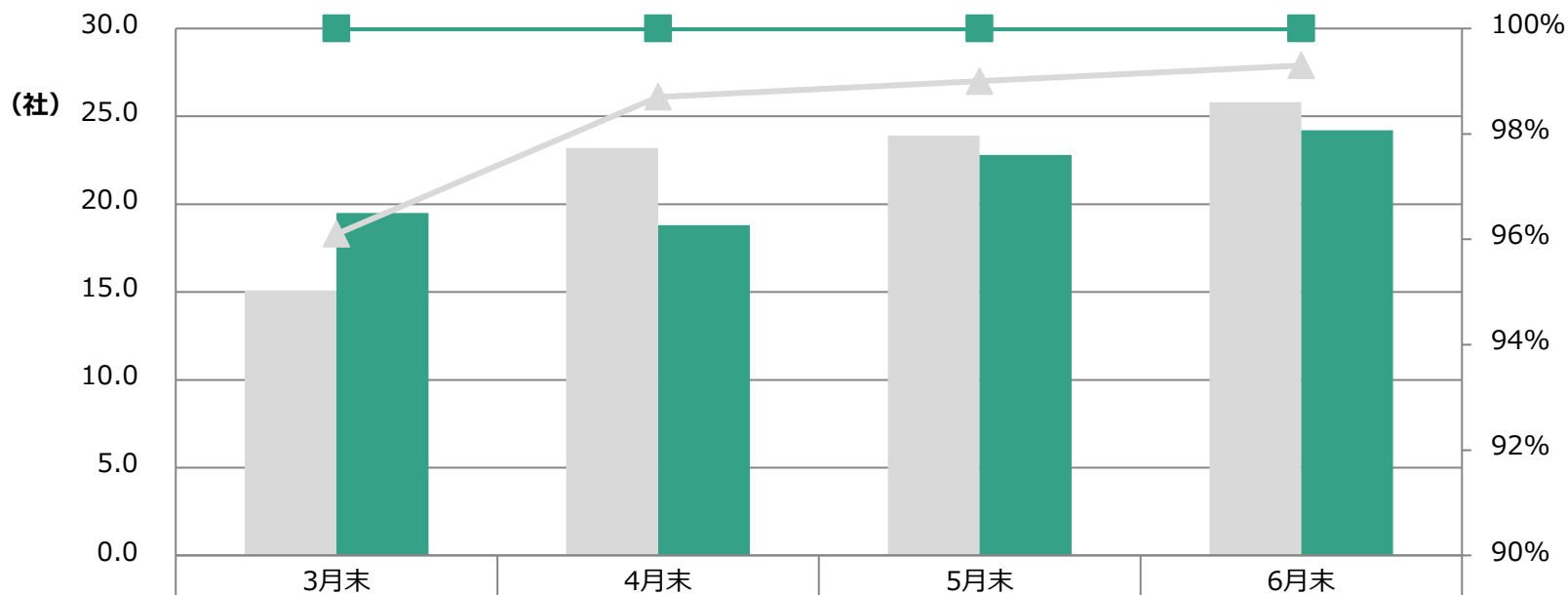
3 〈学生アンケート〉 P.8

- ・今から新たに企業探しをする場合、より重視している点はなんですか？（上位3つ）
- ・今後、新しく説明会に参加する際、どんな説明会を実施している企業が最も魅力的だと思いますか？
- ・いつ頃までに就職活動を終了したいと考えていますか？【活動継続者のみ対象】
- ・内定承諾書を提出してからも、就職活動を続けたことがある、もしくは続けているひとを見たことがありますか？
- ・実施してほしい内定者フォローはありますか？（複数回答可）
- ・過去の自分にアドバイスをするなら、何月から就職活動を始めるように勧めますか？
 - ①業界研究をし始める時期
 - ②自己分析をし始める時期
 - ③インターンシップに参加する時期
 - ④筆記試験の対策、勉強をし始める時期

4 〈新入社員エッセイ〉 P.15

1. 学生動向

説明会平均参加率と平均参加社数

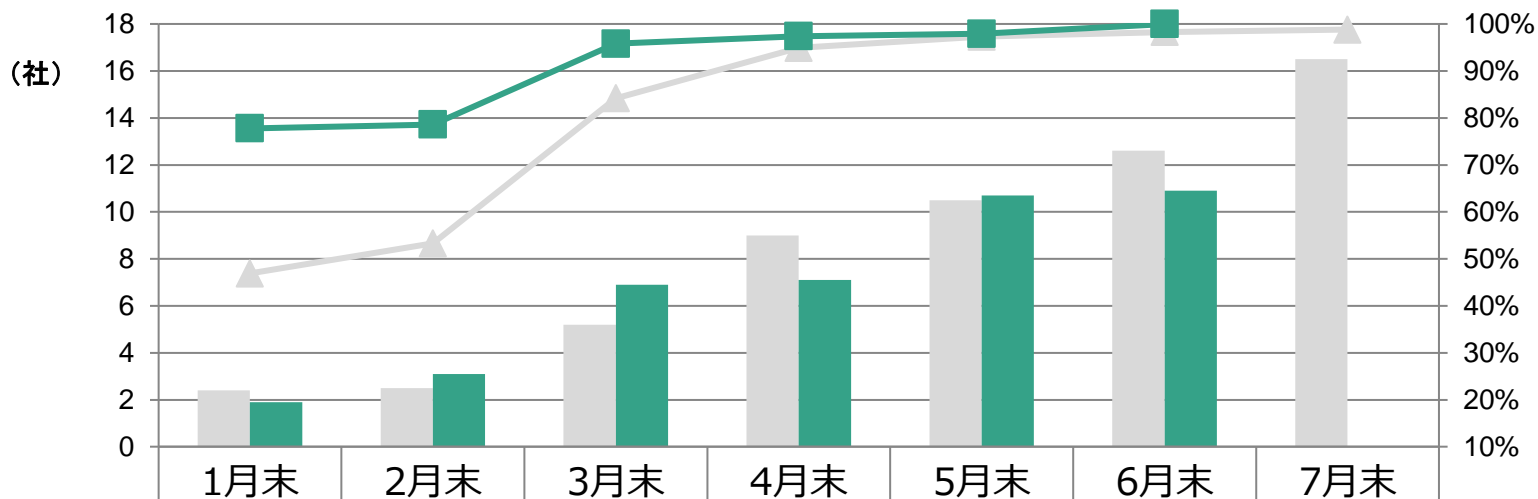


■ 説明会参加社数が先月末から1.4社減少

6月末時点での平均説明会参加社数は、先月よりも1.4社の増加にとどまりました。昨年同時期と比較すると、1.6社減少しており、全体を通してみても学生の行動量は22卒よりも減少しています。

1. 学生動向

面接平均参加率と平均参加社数

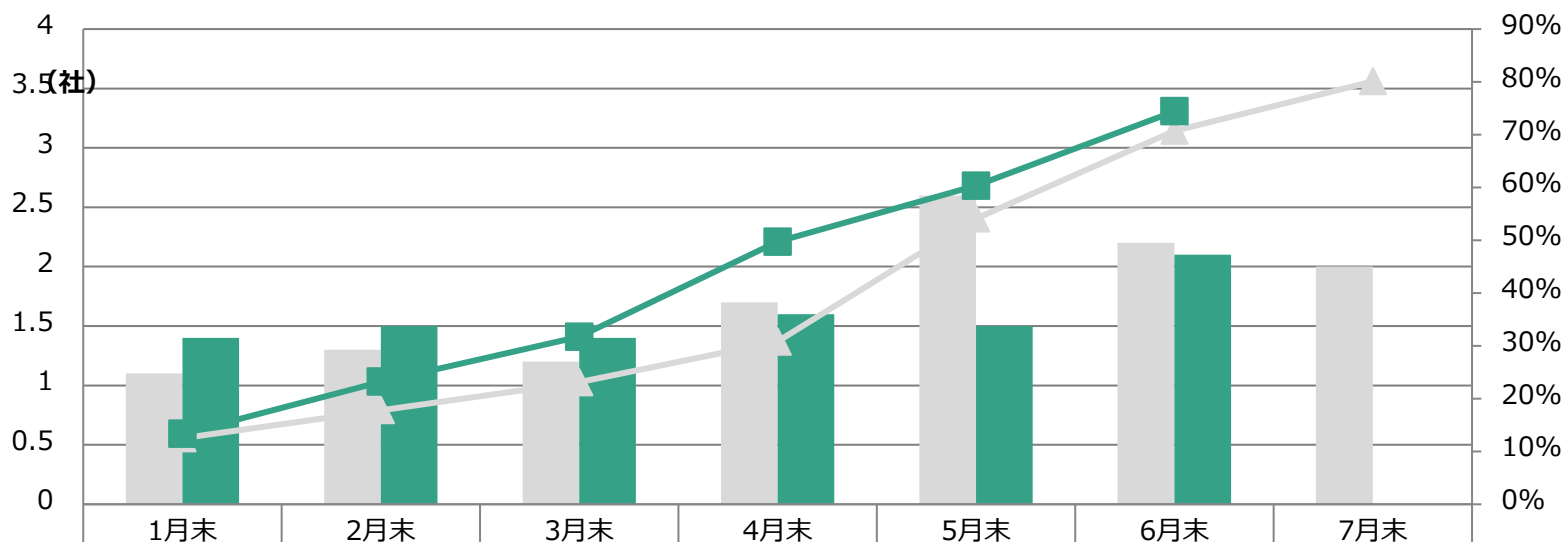


■ 面接参加社数は、昨年同月よりも1.7社減少

6月末時点での平均面接参加社数は10.9社でした。昨年の5月末から6月末にかけては2.1社ほど増加がみられましたが、今年はほぼ横ばいの状態です。昨年同時期と比較しても1.7社減少しており、説明会同様、学生の活動は緩やかです。

1. 学生動向

平均内定率と平均内定社数

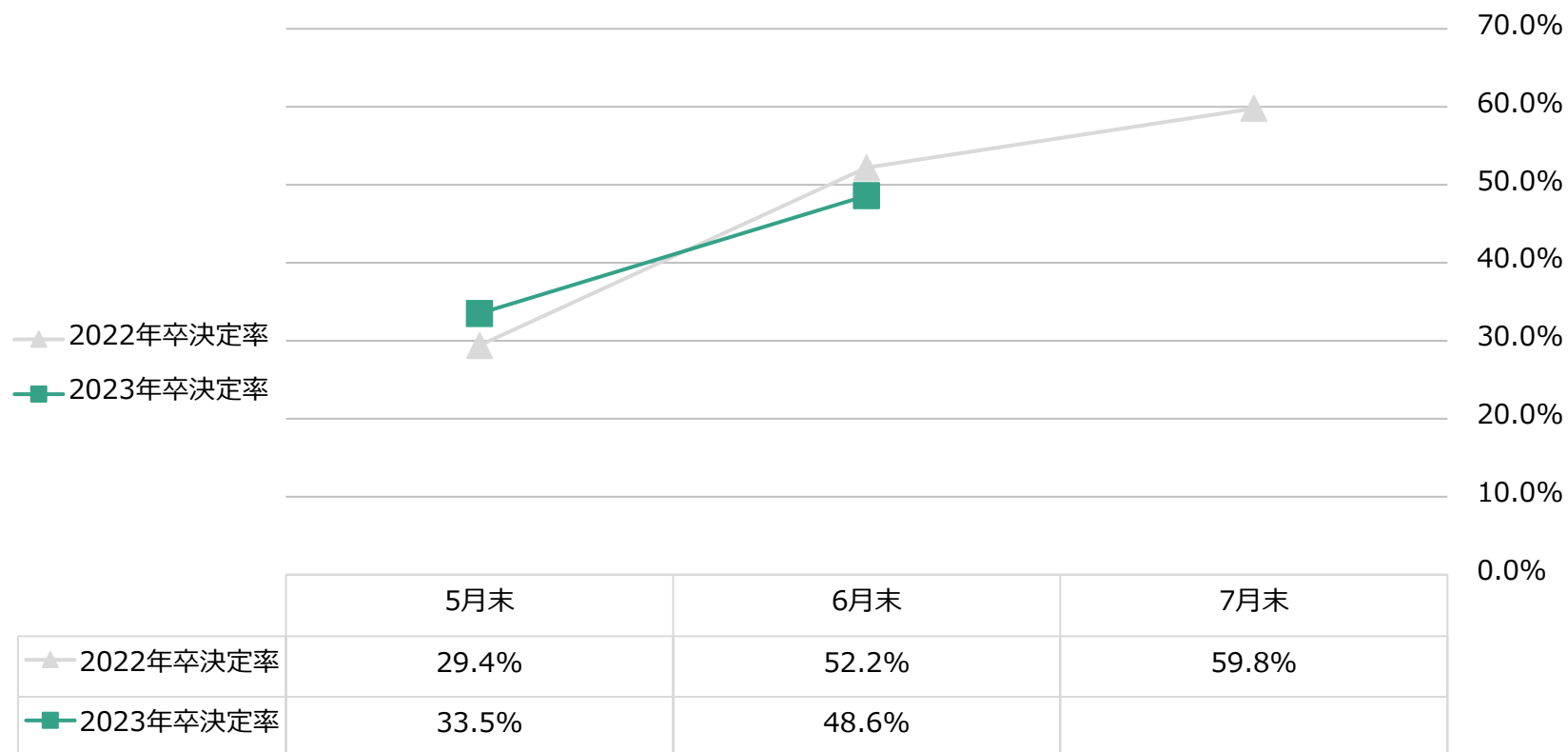


■ 内定率は74.4% 前年同時期を上回る

内定率は74.4%で、先月末よりも14.1ポイント上昇しています。また、昨年同時期と比較しても3.7ポイント上昇しており、順調に学生の内定獲得が進んでいる様子が窺えます。

1. 学生動向

決定率（就職活動終了者の割合）



■ 就職活動終了者、5割近くに

就職活動を終了していると答えた学生は、48.6%と5割近くになりました。しかし、昨年同時期と比べると3.6ポイント減少しており、半数の学生はまだ活動を継続中のようです。23卒は22卒よりも内定率は高いですが、決定率は低いという状況です。

2. 企業動向

10000社を超える企業が23卒採用を継続中

主要ナビサイト7月説明会告知社数（地域別）

◆首都圏

	6月	7月	増減
マイナビ	5996	5324	-11.2%
リクナビ	2735	2486	-9.1%

※マイナビは本社所在地が関東/説明会開催地が関東・WEBの企業

◆近畿

	6月	7月	増減
マイナビ	2250	1944	-13.6%
リクナビ	1257	1083	-13.8%

※マイナビは本社所在地が関東/説明会開催地が関東・WEBの企業

マイナビでの7月全国説明会告知社数（対面・WEB比較）

◆同年6月との比較

※対面・WEBどちらも実施している企業を含む

	6月	7月	増減
説明会告知 全企業数	13308	11562	-13.1%
対面	6553	5490	-16.2%
WEB	9845	8640	-12.2%

◆前年7月との比較

※対面・WEBどちらも実施している企業を含む

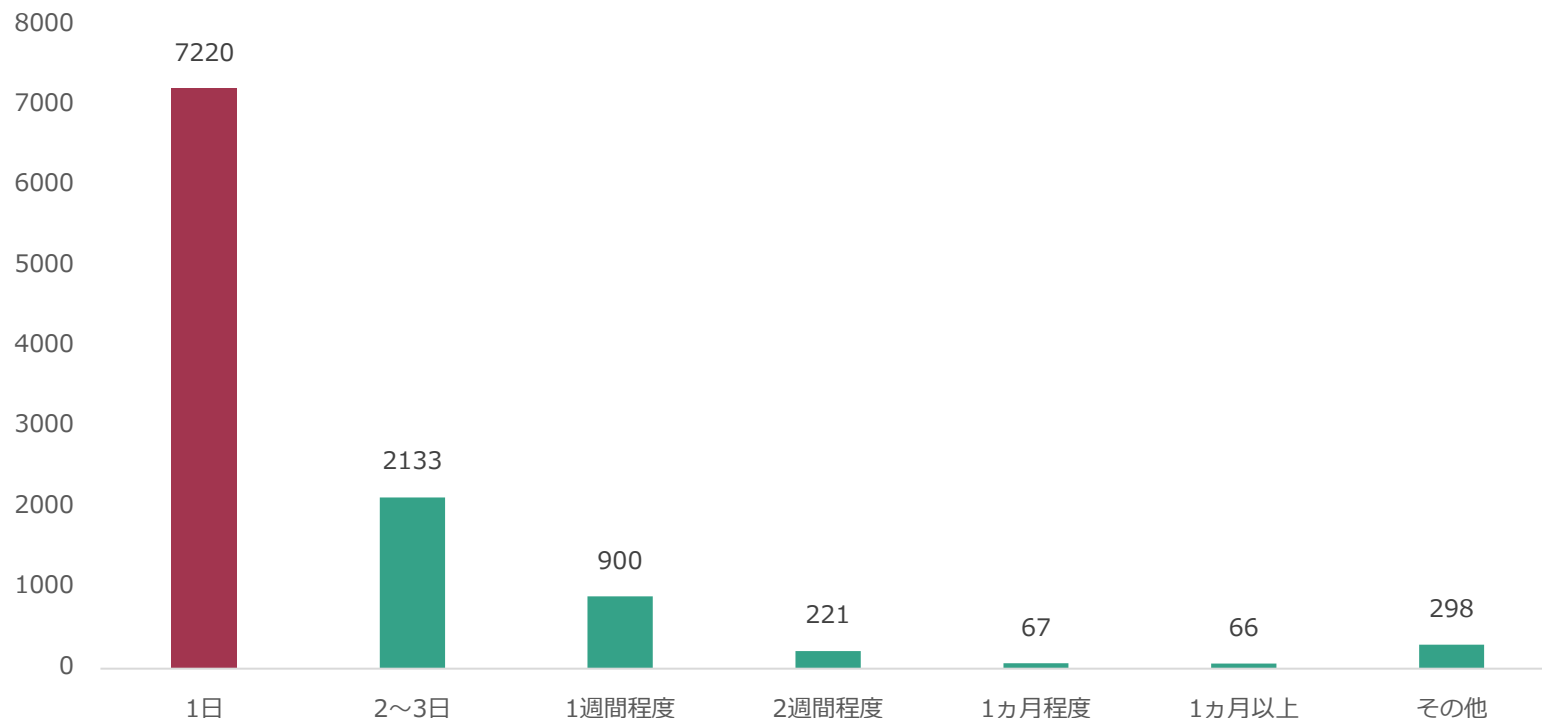
	22卒	23卒	増減
説明会告知 全企業数	9772	11562	+18.3%
対面	5393	5490	+1.8%
WEB	6404	8640	+34.9%

■ 7月の説明会開催数は昨年比約18パーセント増

23卒向けの7月の説明会開催数は、昨年から全体で18.3パーセント増、WEBでは34.9パーセント増と、6月に引き続き前年を大きく上回る結果となりました。今年度は採用活動に苦戦する企業が多く、引き続き活発に学生を集めています。

2. 企業動向

24卒採用 実施日数別インターンシップ告知コース数（マイナビ） ※2022年7月1日時点

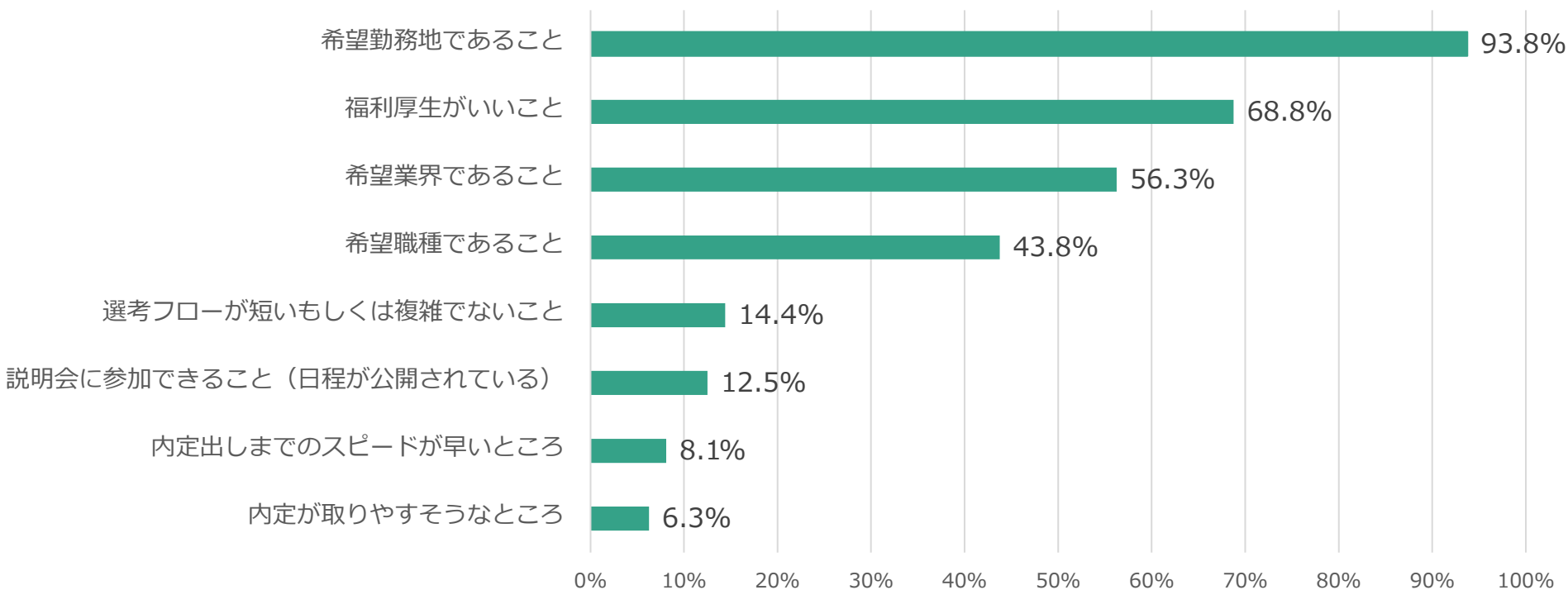


■ インターンシップの実施日数は「1日」が最多

24卒向けのインターンシップの日数は、例年通り「1日」で実施する企業が大きな割合を占めています。次点では全体の約2割の企業が「2~3日」でインターンシップを実施する予定となっています。長期の受け入れには現場などの協力も必要となり、人事ご担当者にとっては頭が痛い問題といえそうです。

3. 学生アンケート

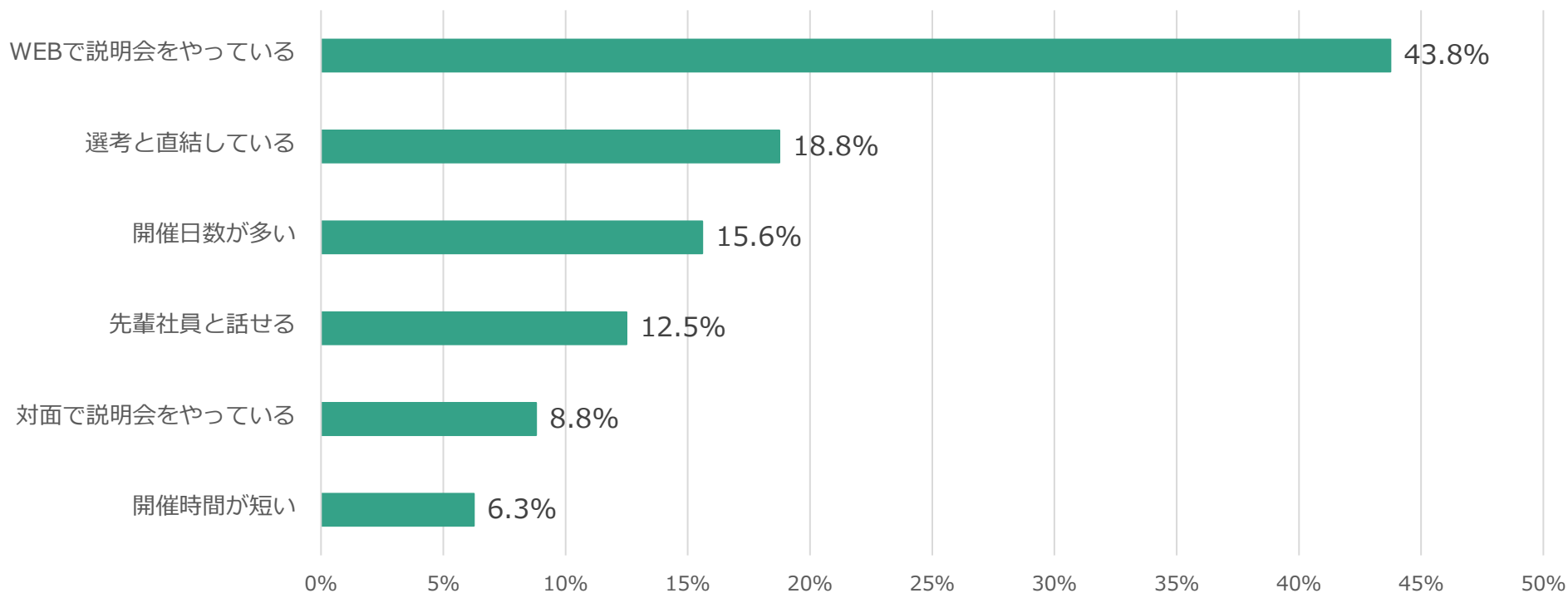
Q.今から新たに企業探しをする場合、より重視している点はなんですか？（上位3つ）



今から企業探しをする際、学生が最も重視しているのは、「希望勤務地であること」が圧倒的でした。DMやナビサイトの文言に、「勤務地や福利厚生」に関する情報を主に打ち出していくことをおすすめします。また、スカウト型サービスを利用している企業は、学生の希望勤務地に重きをおいて学生検索を行うと効果的です。職種へのこだわりはさほど強くないため、貴社の勤務地と学生の希望が一致しているのであれば、ある程度親和性のある職種志望の学生に、手を広げてもいいかもしれません。（例）営業→接客・販売、コンサルタントなど

3. 学生アンケート

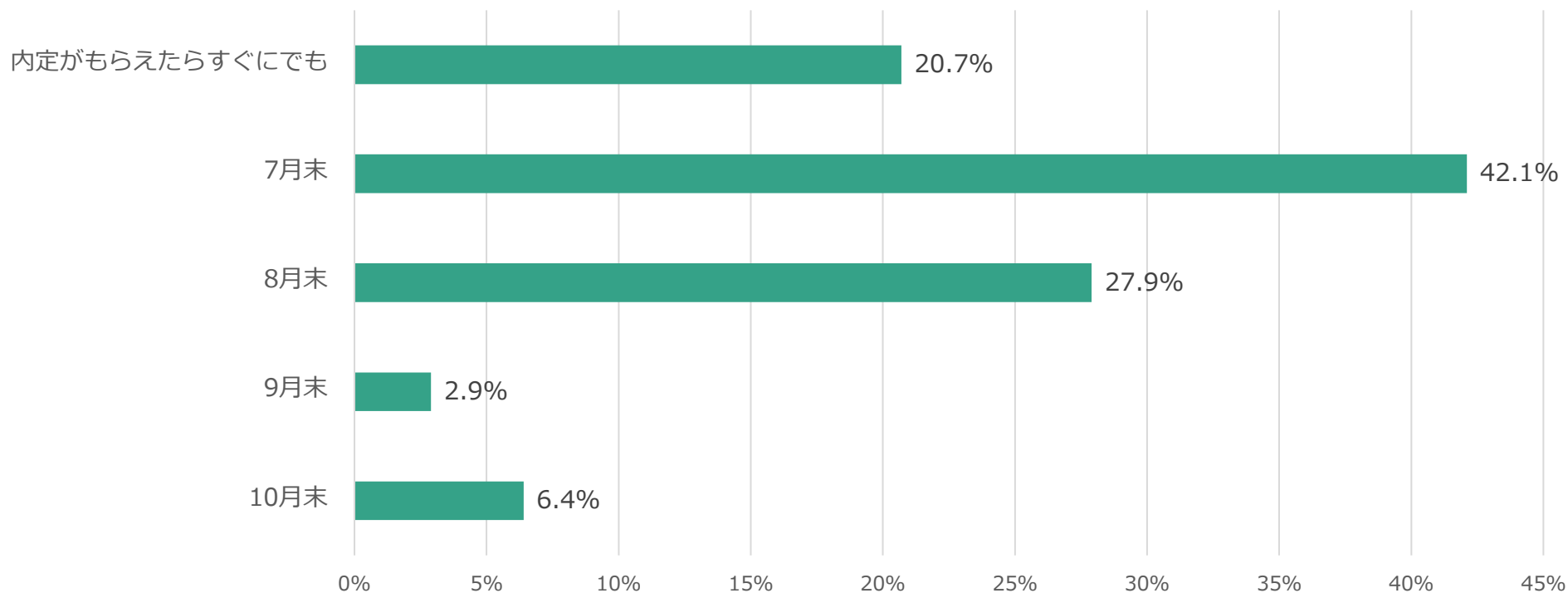
Q.今後、新しく説明会に参加する際、どんな説明会を実施している企業が最も魅力的だと思いますか？



学生が新たに説明会に参加する際、魅力的だと思う説明会は「WEBで説明会をやっている」が43.8%と、圧倒的な支持を集めました。「対面で説明会をやっている」が8.8%であることを踏まえると、いかに学生がWEBに魅力を感じているのかが窺えます。また、先輩社員と話す場よりも、「選考と直結している」ことを望んでおり、この時期になると「その日のうちに選考に進めるWEBセミナー」が、最も学生の好感度を集める説明会かもしれません。

3. 学生アンケート

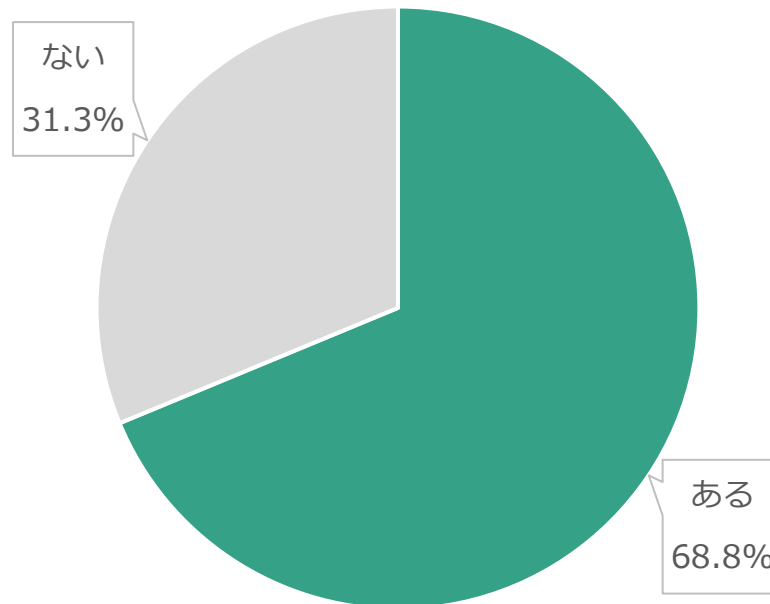
Q.いつ頃までに就職活動を終了したいと考えていますか？【活動継続者のみ対象】



就職活動を終了する目安として、「7月末」という回答が34.4%と最も多い結果となりました。続いて「8月末」が23.8%、「内定をもらえたらすぐにでも」という回答は16.3%となっています。このことから、内定をもらえるならどこでもいいという意識よりは、多少活動時間が伸びたとしても、「しっかり吟味したい・比較したい」という意識を持っている学生のほうが多いといえます。

3. 学生アンケート

Q.内定承諾書を提出してからも、就職活動が続けたことがある、もしくは続けているひとを見たことがありますか？

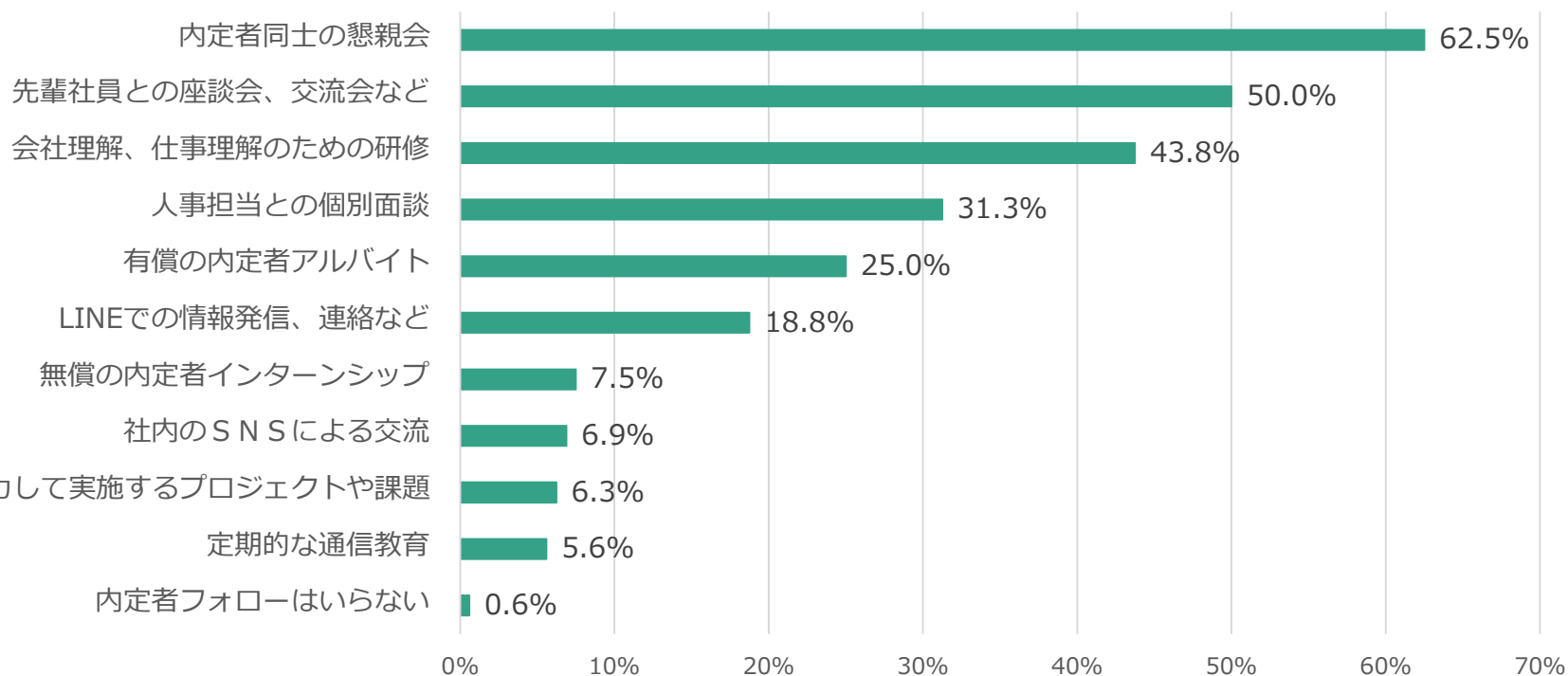


承諾書を提出してからも就職活動が続けたことがある（もしくは見たことがある）と、7割近い学生が回答しました。学生と企業側で、「内定承諾書」の捉え方が、大きく異なっていることが窺えます。

企業側は、「自社における内定承諾書の取り決め」を、しっかりと選考フローのなかで学生に伝える必要があるでしょう。また、現在の内定者に対しても、定期的に連絡をとって現状把握に努めることを推奨します。

3. 学生アンケート

Q.実施してほしい内定者フォローはありますか？（複数回答可）

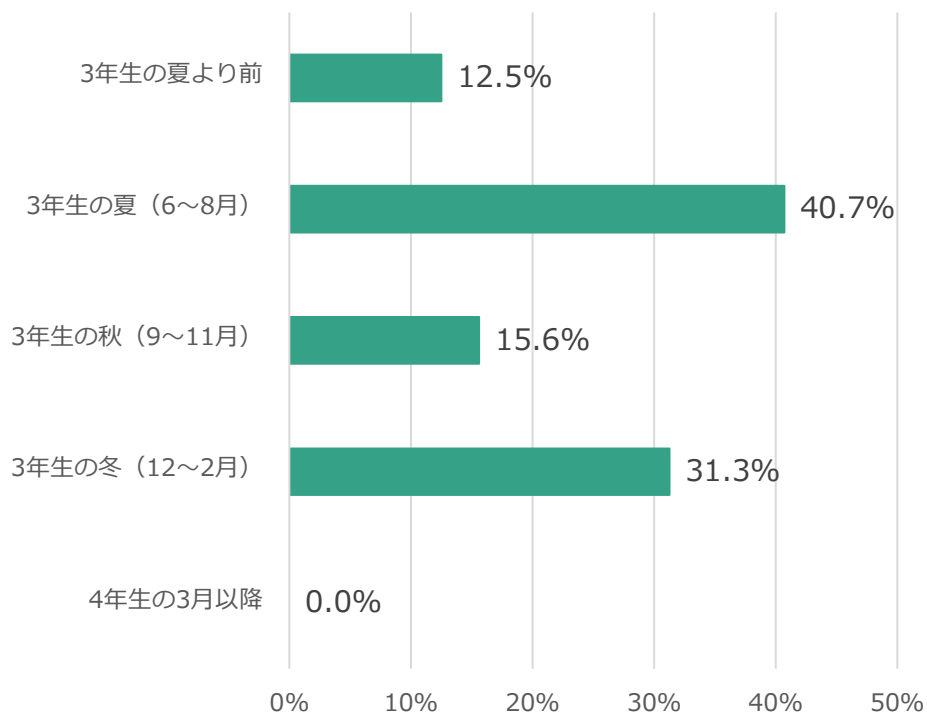


実施してほしい内定者フォローは、1位「内定者同士の懇親会」（62.5%）、2位「先輩社員との座談会、交流会」（50.0%）、3位「会社理解、仕事理解のための研修」（43.8%）という結果になりました。人間関係や、入社後の働き方に対する不安が解消ができるようなフォローを望んでいるようです。また、「内定者フォローはいらない」と回答したのはごく少数で、大多数の学生が入社までのフォローを企業に期待しています。

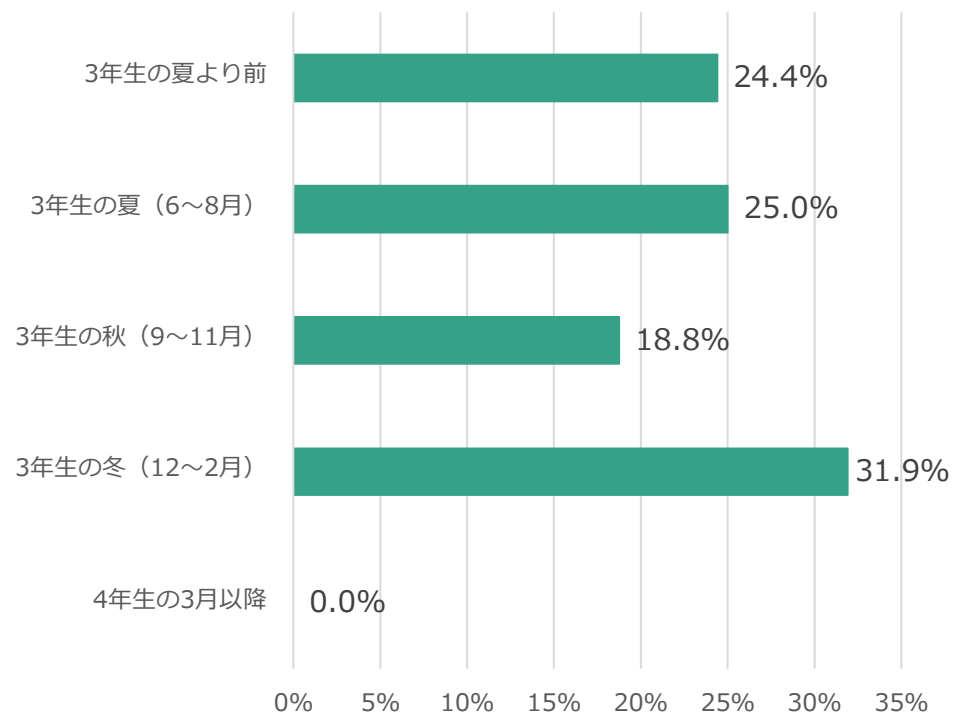
3. 学生アンケート

Q.過去の自分にアドバイスをするなら、何月から就職活動を始めようか？

① 業界研究をし始める時期



② 自己分析をし始める時期

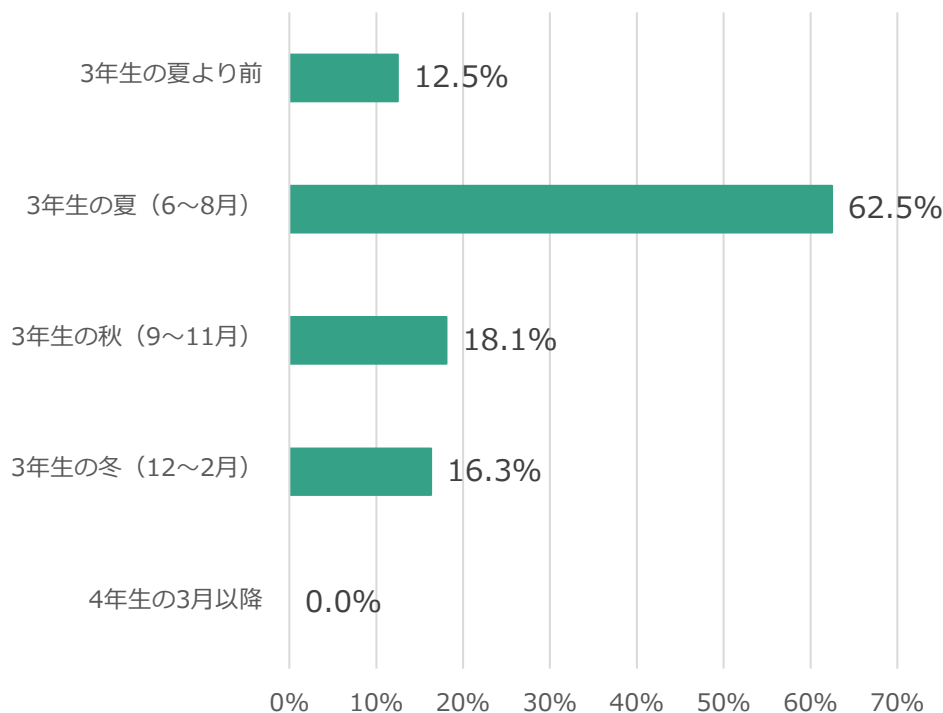


自身の就職活動を振り返ってもらい、それぞれの活動をスタートするのに最も適していると感じた時期を尋ねました。業界研究については「3年生の夏」が最多の40.7%で、53.2%が夏以前に実施すべきだったと回答しています。「自己分析」については、「3年生の冬」が31.9%と最多で、秋以降に始めるという回答が50.3%となりました。夏のインターンシップでは、業界研究の手助けになるようなコンテンツを盛り込んでみてはいかがでしょうか。

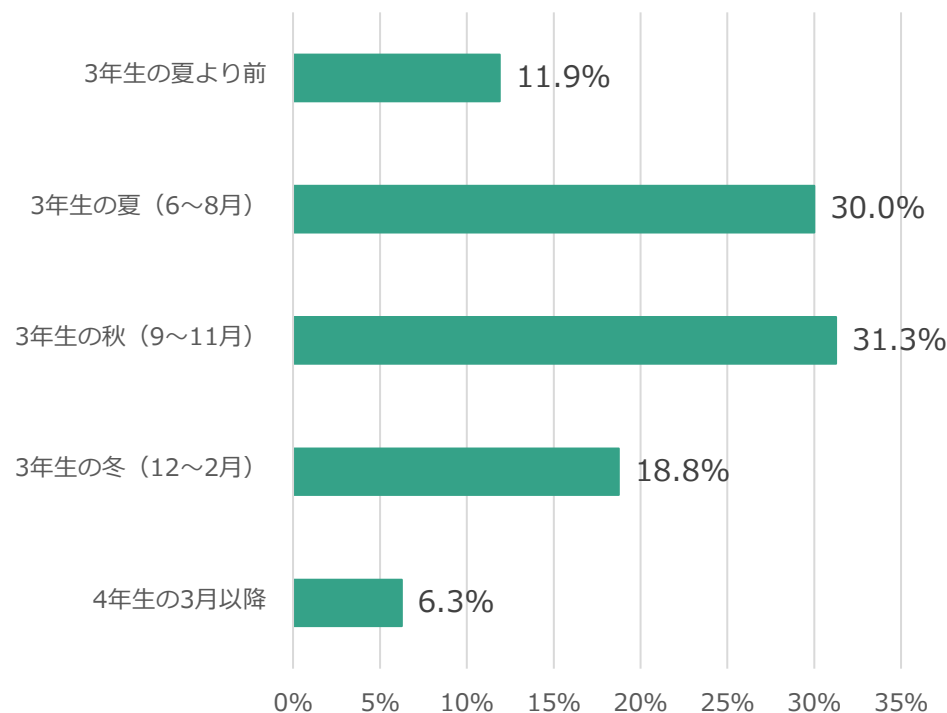
3. 学生アンケート

Q.過去の自分にアドバイスをするなら、何月から就職活動を始めるように勧めますか？

③ インターンシップに参加する時期



④ 筆記試験の対策、勉強をし始める時期



自身の就職活動を振り返ってもらい、それぞれの活動をスタートするのに最も適していると感じた時期を尋ねました。インターンシップに参加する時期としては、「3年生の夏」が62.5%と最多で、筆記試験対策としては「3年生の夏～秋」に実施すべきという回答が61.3%となりました。このことから、夏時期にインターンシップを経験しておくことの重要性を、学生自身も実感しているようです。

4. 新入社員エッセイ

先月には、ありがたいことに初受注を達成することができました。頑張ってきたことが報われたというところで、素直にうれしいです。ありがとうございます。

受注したことにより、新たな仕事をたくさん経験できました。すべてが初めてということもあり、一つ一つの作業に時間がかかり、アポ取りの時間との両立に苦戦しました。そこで、役に立ったのが先月から作成していたアポ取り管理表です。記録を残しておいたおかげで、忙しい中でも、つながりやすい時間にアポ取りができました。また、行動の優先順位を考え、事前に計画を立てることの大切さも経験しました。様々な時間の使い方を試した一か月だったと思います。

今回の経験を次へ活かすためにも、作業する時間を決めて効率よく行動できるよう心掛けます。とある営業先で、作業時間を測り、どのくらいの時間でどのくらいできたかを可視化する方法を教えてくださいました。目で見てわかるようにすることで、改善すべきポイントがわかると思います。また、作業スピードが上がれば、成長が目に見えてわかるため、試してみます。

先月は、成長を感じた一か月でした。今月からは、一人での営業活動が始まります。自分自身だけでできることを少しずつ増やしていき、成長していきます。

<2022年4月入社 大森 啓司>